

千葉大学におけるアセスメントの考え方及び実施方法

令和7年 2月 3日
運営基盤機構大学評価部門決定

(1) アセスメントの共通基準

千葉大学におけるアセスメントは、教育課程と学修成果に関する自己点検・評価として、「教育の質保証に関する自己点検・評価の手引き」（国立大学法人千葉大学運営基盤機構大学評価部門）に示された以下の基準を共通基準として、その達成状況に対してアセスメントを行う。なお、学部・研究科等においては、必要に応じ、独自の基準を定めることができる。

1. 学位授与方針が具体的かつ明確であること
2. 教育課程方針が、学位授与方針と整合的であること
3. 教育課程の編成及び授業科目の内容が、学位授与方針及び教育課程方針に則して、体系的であり相応しい水準であること
4. 学位授与方針及び教育課程方針に則して、適切な授業形態、学習指導法が採用されていること
5. 学位授与方針に則して、適切な履修指導、支援が行われていること
6. 教育課程方針に則して、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること
7. 大学等の目的及び学位授与方針に則して、公正な卒業・修了判定が実施されていること
8. 大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学修成果が得られていること

(2) アセスメントの項目と指標

共通基準をアセスメントするために、アセスメントの項目と指標の例を以下に示す。各学部・研究科等は、これらの項目と指標を参考にアセスメントを実施する。

- 機関レベル：大学全体としての教育体制・環境や教育方針など
- 部局・教育課程レベル：各学部・研究科等における教育体制・環境及び教育方針、複数の科目で構成される教育の基礎単位における教育課程など
 - 指標の例：カリキュラムマップ、カリキュラムツリー、学生の在籍状況（学生数、社会人学生数、留学生数、休学者数、留年者数、退学者数）、学生相談の実績、標準単位未修得状況、GPAの分布状況、GPCA、標準修業年限内の卒業（修了）率、「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得状況、就職率及び進学率の状況・主な進学／就職先、学会発表・論文発表数、入学定員充足率・収容定員充足率など

- 科目レベル：各学部・研究科等における個々の科目・授業の状況
 - 指標の例：授業評価アンケート、シラバスチェックへの対応、GPCA など

(3) 科目レベルのアセスメントにおける成績評価の考え方

個々の授業科目の成績評価は、以下の観点にもとづいて、公正かつ妥当な方法を用いて行うこととする。

● 評価対象

講義科目や演習科目においては、授業における到達目標に照らして、知識の修得状況とその応用能力を評価する。実験・実習等の科目では、授業における到達目標に照らして、スキル、コミュニケーション能力等の修得状況についても評価に加えることができる。

● 評価方法

知識の修得状況とその応用能力は、授業における到達目標に照らして、リアクションペーパー、筆記試験、口答試験、課題レポート等の方法を用いて、多面的に評価する。

スキル、コミュニケーション能力等の修得状況は、授業における到達目標に照らして、実技試験や現場評価、ポートフォリオ評価等を用いて、多面的に評価する。

また、学生の到達目標の達成を支援するように、科目の特性に応じて、随時、形式的評価を行う。

● 評価基準

成績評価にあたっては、各学部・研究科等は、成績評価の基準を定め、事前に学生に公表する。

個々の授業科目における成績評価は、実技試験や現場評価を含め、数値化して達成度を評価し、評語による成績表示を基本として行う。達成度の評価においてはルーブリックを作成、使用するなど、明確な評価基準を用いるように工夫する。

達成度を数値化できないものについては、評語によらず合格・不合格によって評価することができる。どの科目を合格・不合格によって評価するかは、科目の特性に応じて学部・大学院教育委員会で審議のうえ、決定する。

(4) アセスメントの実施方法

千葉大学アセスメント・ポリシーに基づくアセスメントの実施は、以下の方法で行う。

- 各学部・研究科等は、それぞれアセスメント・ポリシーを定める。
- 各学部・研究科等は、アセスメントを実施するための組織（以下、アセスメント実施組織という。）を置く。
- アセスメントは、毎年度実施する。
- アセスメント実施組織は、アセスメント・チェックリストにより、各種データ・資料等に基づいて分析を行い、部局・教育課程レベル、科目レベルの点検・評価を実施する。

- 各学部・研究科等は、アセスメントの結果を運営基盤機構大学評価部門（以下、「大学評価部門」という。）に7月末までに報告する。
- 各学部・研究科等はアセスメントの結果に基づき、改善が必要と認められるものについては、改善計画を立て、その改善を行う。
- 大学評価部門は、国際未来教育基幹キャビネット高等教育センターの協力を得て、機関レベルのアセスメントを実施する。
- 大学評価部門は、アセスメントの結果に基づき、改善が必要と認められるものについては、担当組織に対して改善を指示する。

以上